

10年の運氣表

九星気学・2026年～2035年の本命星のめぐりと、年ごとの吉方位

ひろし 様

鑑定とアドバイス

独立や住まいの見直しの目安に、とのお話でしたので、動きやすい年と、内側を整える年を分けてお書きしています。

ひろしさんの本命星（六白金星）は、2026年に坎宮（準備と充電）に入ります。

この10年で、始める・広げるのに向くとされる震宮・巽宮の年は、2028年（震宮）・2029年（巽宮）です。

2030年は本命星が中宮に入る八方塞がりの年で、内側を整えるのに向く年とされます。

あなたの星

お名前	ひろし
生年月日	1976年8月19日
本命星	六白金星 （1976年・辰年）
月命星	八白土星（申月生まれ）
傾斜	震宮
最大吉方の星	二黒土星・七赤金星
吉方の星	一白水星・八白土星
凶となる星	五黄土星・六白金星（本命殺）・三碧木星・四緑木星・九紫火星

9年でひとめぐりする流れ

九星気学では、本命星は毎年ひとつずつ宮を移り、中宮→乾宮→兌宮→艮宮→離宮→坎宮→坤宮→震宮→巽宮→中宮と、9年でひとめぐりとされます。どの宮に入る年かによって、動きやすい年、整える年といった流れの目安を見ます。10年分を並べると、今がめぐりのどのあたりか、次に動きやすい年はいつかを見渡すことができます。

10年の運氣表

年の区切りは2月の立春です。色を付けた年は、本命星が中宮に入る八方塞がりの年です。年の吉方位は年盤だけで見たもので、実際に出かける月は、月盤もあわせて選びます（吉方位カレンダーで月ごとに判定できます）。

年	本命星の宮	運気の目安	仕事の目安	年の吉方位
2026年 午年・一白 中宮	坎宮	準備と充電	学びと準備	南南西  ・ 西南西  ・ 西北西  ・ 北北西  ・ 東 
2027年 未年・九紫 中宮	坤宮	土台づくり	足元を固める	東  ・ 西  ・ 東南東  ・ 南南東  ・ 西北西  ・ 北北西 
2028年 申年・八白 中宮	震宮	始まりと行動	始める・動き出す	東南東  ・ 南南東 
2029年 酉年・七赤 中宮	巽宮	縁と信頼が広がる	信用が広がる・まとまる	南  ・ 北北東  ・ 東北東 
2030年 戌年・六白 中宮	中宮	内側を整える時期	体制を整える	なし（八方塞がり）
2031年 亥年・五黄 中宮	乾宮	充実と責任	活動が盛ん・広げる	南南西  ・ 西南西  ・ 西  ・ 北  ・ 北北東  ・ 東北東 
2032年 子年・四緑 中宮	兌宮	実りと楽しみ	実りと交流	北北東  ・ 東北東  ・ 南南西  ・ 西南西 
2033年 丑年・三碧 中宮	艮宮	変わり目と見直し	見直しと切り替え	東南東  ・ 南南東  ・ 南  ・ 北 
2034年 寅年・二黒 中宮	離宮	明るみと表現	評価と発信	東南東  ・ 南南東 
2035年 卯年・一白 中宮	坎宮	準備と充電	学びと準備	南南西  ・ 西南西  ・ 西北西  ・ 北北西  ・ 東 

宮ごとの過ごし方

坎宮：準備と充電（2026年・2035年）

本命星が坎宮に入る時期は、九つの宮をめぐる流れの中で冬にあたる、静かな時期とされます。目に見える動きは少なく感じられるかもしれませんが、土の中の種が春を待つように、次に向けて力をたくわえる時期です。ゆっくり休養をとる、学びたかったことに取り組む、信頼できる人との関係を深める、といった過ごし方が向いているといわれます。結果を急がず、準備と充電に時間を使うことを意識してみてください。

仕事の面では：本命星が坎宮に入る時期は、仕事の面では、表立った動きより、学びや準備に向く時期とされます。資格の勉強や情報集め、事業計画の見直しなど、次の春に向けて力をたくわえる過ごし方がよいといわれます。人とのつながりを静かに深めておくことも、のちの助けになるかもしれません。大きな開業や契約は、準備を進めながら、動き出す時期を見定めると安心です。

坤宮：土台づくり（2027年）

本命星が坤宮に入る時期は、冬を越えて大地を耕しはじめる時期とされます。派手さはないものの、先々に向けた土台づくりに向いているといわれます。今の役割に丁寧に取り組む、周りの人を支える、日々の習慣を整える、といった過ごし方がよいとされます。一方で、成果を急ぐと空回りしやすい面もあるようです。一歩ずつ進むことを大切に、準備してきたことを少しずつ形にしていくと安心です。

仕事の面では：本命星が坤宮に入る時期は、仕事の面では、足元を固め、地道に取り組むのに向く時期とされます。今の役割を丁寧に果たす、仕組みや手順を整える、人を育てる、といった動きがよいといわれます。目立つ成果は出にくく感じられても、ここで固めた土台が次の時期の支えになるようです。開業の準備であれば、場所や人、資金の段取りを一つずつ整えておくで安心です。

震宮：始まりと行動（2028年）

本命星が震宮に入る時期は、春の雷が鳴り、芽が地上に出てくるように、物事が動き出す時期とされます。やる気が高まり、新しいことを始めたいという傾向があるといわれます。温めてきた計画に取りかかる、学んだことを発信してみる、といった前向きな動きに向いているかもしれません。一方で、勢いがつく分、言葉が先走ったり、準備不足のまま進めたりしやすい面もあるとされます。始める前に段取りを確かめることを意識すると安心です。

仕事の面では：本命星が震宮に入る時期は、仕事の面では、新しいことを始め、動き出すのに向く時期とされます。開業や新しい企画の立ち上げ、発信を始めることなどに勢いがつきやすいといわれます。一方で、言葉が先走ったり、準備が追いつかないまま進めたりしやすい面もあるようです。始める前に段取りと役割分担を確かめておくで、勢いを活かしやすいかもしれません。

巽宮：縁と信頼が広がる（2029年）

本命星が巽宮に入る時期は、草木が枝葉を伸ばすように、物事が整い、広がっていく時期とされます。人との縁が広がりやすく、これまでの取り組みに信頼が集まりやすいといわれます。人の紹介や遠方とのやり取りなど、つながりを大切にした動きに向いているかもしれません。一方で、話がまとまりかけた場面で迷いが出やすい面もあるようです。約束や連絡を丁寧にし、ひとつずつ整えていくことを心がけると安心です。

仕事の面では：本命星が巽宮に入る時期は、仕事の面では、信用が広がり、話がまとまりやすい時期とされます。取引や契約、人の紹介、遠方とのやり取りなど、つながりを活かす動きに向いているといわれます。これまで積み上げてきた取り組みが評価につながる場面もあるようです。約束や連絡を丁寧にし、条件を一つずつ確かめながら進めると、よい形でまとまりやすいかもしれません。

中宮：内側を整える時期（2030年）

本命星が中宮に入る時期は、盤の真ん中で八方を囲まれる位置にあることから、年盤では「八方塞がり」と呼ばれます。何もしてはいけない時期ではなく、外へ大きく広げるより、内側を整えるのに向いた時期と考えられています。周りから注目されやすく、頼まれごとが増える傾向もあるとされます。これまでの歩みをふり返し、身の回りや考えを整理しておく、次の時期へ落ち着いて進みやすいかもしれません。新しいことは、準備を丁寧に進めておく程度が安心です。

仕事の面では：本命星が中宮に入る時期は、仕事の面では、周りから頼られ、注目を集めやすい時期とされます。外へ大きく広げるより、今ある仕事の仕組みや体制を整えるのに向いているといわれます。新しい事業を始めるなら、準備や計画づくりを丁寧に進めておく時期と考ええると安心です。続けることと手放すことを分けておく、次の時期に動きやすくなるかもしれません。

乾宮：充実と責任（2031年）

本命星が乾宮に入る時期は、活動が充実しやすい時期とされます。責任ある役目を任されたり、目上の人から期待をかけられたりすることが増える傾向があるといわれます。忙しさの中にも張り合いを感じやすく、これまで積み上げてきたことを発揮する場面もあるかもしれません。一方で、はりきりすぎて何でも引き受けたり、周りに厳しくなったりしやすい面もあるとされます。予定に余白を残し、任せられることは周りに任せる意識を持つと、落ち着いて過ごしやすいかもしれません。

仕事の面では：本命星が乾宮に入る時期は、仕事の面では、活動が盛んになり、責任ある役目を任せやすい時期とされます。目上の人や取引先からの引き立てを受けやすく、事業を広げる動きや大きな仕事に取り組むのに向いているといわれます。一方で、はりきりすぎて抱えこみやすい面もあるようです。任せられることは周りに任せ、予定に余白を残しておく、力を発揮しやすいかもしれません。

兌宮：実りと楽しみ（2032年）

本命星が兌宮に入る時期は、秋の実りにたとえられ、喜びや楽しみごとが増えやすい時期とされます。人との交流がにぎやかになり、会話や集まりを通して新しい縁が生まれやすいといわれます。これまでの努力をねぎらい、趣味や楽しい時間を味わうのに向いているかもしれません。一方で、気が緩みやすく、楽しさを優先して予定を詰めこみすぎることもあるようです。楽しむ時間とやるべきことのバランスを意識すると、心地よく過ごしやすいかもしれません。

仕事の面では：本命星が兌宮に入る時期は、仕事の面では、これまでの取り組みが実りとなって表れやすい時期とされます。人との交流がにぎやかになり、接客や販売、会食など、人と会う仕事に向いているといわれます。一方で、気が緩みやすく、出費や予定が増えやすい面もあるようです。実りを受け取りつつ、お金の出入りと日程の管理を丁寧にとすると、よい流れを保ちやすいかもしれません。

艮宮：変わり目と見直し（2033年）

本命星が艮宮に入る時期は、山が土地の境目となるように、物事の変わり目にあたる時期とされます。仕事や住まい、人との関わりなどで、見直しや切り替えの機会が訪れやすいといわれます。変化は、これまでの整理して次へ進むためのきっかけと考えるとよいかもしれません。一方で、迷いが出やすく、判断が揺れやすい面もあるとされます。大きな決めごとは急がず、情報を集めて落ち着いて選ぶこと、身近な人に相談することを心がけると安心です。

仕事の面では：本命星が艮宮に入る時期は、仕事の面では、変わり目や見直しの機会が訪れやすい時期とされます。事業の方向転換や担当の変更、働き方の見直しなど、切り替えを考えるきっかけになりやすいといわれます。一方で、迷いが出やすく、判断が揺れやすい面もあるようです。大きな決めごとは急がず、情報を集めて落ち着いて選ぶと、次の流れにつながりやすいかもしれません。

離宮：明るみと表現（2034年）

本命星が離宮に入る時期は、太陽が高く昇るように、物事が明るみに出やすい時期とされます。これまでの取り組みが周りから見えやすくなり、注目や評価を受ける場面が増える傾向があるといわれます。自分の考えを表現したり、学んだことを発表したりするのに向いているかもしれません。一方で、良いことも課題もはっきり見えやすく、気持ちが高ぶりやすい面もあるとされます。落ち着きを大切に、区切りをつけたいことは丁寧に区切ると、気持ちよく次へ進みやすいかもしれません。

仕事の面では：本命星が離宮に入る時期は、仕事の面では、取り組みが周りから見えやすくなり、評価や注目を受けやすい時期とされます。発表や発信、表に立つ仕事、新しい知識を取り入れることに向いているといわれます。一方で、課題も明るみに出やすく、気持ちが高ぶりやすい面もあるようです。区切るべき仕事は丁寧に区切り、落ち着いて次へ進む準備をすると安心です。

判定の基準

判定の基準：標準

避けている凶殺：五黄殺・暗剣殺・本命殺・本命的殺・歳破・月破・年の八方塞がり

採用していない項目：月の八方塞がり・月命殺・月命的殺

土用：期間を外しています（辰・未・戌・丑の月は土用入りの前日まで）

気学は流派によって基準が異なります。本書は上記の基準で計算しています。

年の吉方位は、年盤でその方位に回る星が吉星で、五黄殺・暗剣殺・本命殺・本命的殺・歳破にあたらない方位です。◎=本命星・月命星のどちらから見ても吉、○=本命星から見て吉。

ご注意

- 運気の目安は、九星気学の伝統的な象意による参考です。その年の出来事を決めたり、約束したりするものではありません。
- 八方塞がりの年の扱いは流派によって異なります。

本鑑定は九星気学にもとづく参考情報であり、結果や効果を保証するものではありません。医療・健康、投資・金銭、法律に関する判断の代わりにはなりませんので、それらは医師・専門家にご相談ください。

お預かりした生年月日は本鑑定の作成にのみ使い、納品から30日で手元の記録を削除します。